

す。

病院経営にあつては、人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響等により医療収益が大幅に減収となる中、医療提供体制を維持するための経費が増加するなど、厳しい状況が続いており、また、国では団塊の世代が75歳を迎える2025年度を見据えて地域の医療需要等を踏まえつつ、医療提供体制の抜本的な見直しを行うとしております。

このため、経営の健全化を図り、公立病院としての使命と役割を果たすため、国から示される公立病院経営強化ガイドラインに留意しつつ、新たな病院経営強化プランを策定し、適正な病院経営と地域医療の確保に全力で取り組んでまいります。

小児救急やドクターヘリ運航などの広域救急医療については、管内市町村や関係機関との連携により、その体制維持に努めるとともに、厚岸郡の救急医療体制についても、引き続き関係町と連携して取り組んでまいります。

地域福祉については、『第4期厚岸町地域福祉計画』に掲げる目標を達成できるよう、厚岸町社会福祉協議会をはじめ、地域福祉に関わる全ての人や団体と連携して、子どもから高齢者までの包括的な支援や各種取り組みを推進するとともに、介護、障がい、子育て、生活困窮といった

分野別の『属性を問わない相談支援』『参加支援』『地域づくりに向けた支援』を一体的に行う『重層的支援体制』の整備に向けて、先進事例の研究などの準備を進めてまいります。

成年後見制度については、認知症高齢者や障がいのある人の地域生活を支えるため、引き続き厚岸町社会福祉協議会と連携し、さらなる制度利用の促進と体制の充実、普及・啓発に努めてまいります。

高齢者福祉については、『第8期厚岸町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画』に掲げる目標を達成できるように、各事業所などと連携して計画に基づく各種の事業や取り組みを推進してまいります。

また、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよう、介護予防・生活支援サービスの適切な運用を図るほか、医療や介護サービスなどの制度をつなぎ合わせた支え合いによる地域包括ケアシステムを確立するため、生活支援コーディネーターを中心に地域の支え合い体制の充実を図るとともに、地域ケア会議を通じて現状における地域課題を検討しながら、ネットワークを構築してまいります。

さらに、高齢者が安心して生活できるように、認知症対策として、緊急通報システム事業の普及やSOSネットワークをはじめとする地域の見



守り体制を推進するとともに、認知症サポーターなどの人材養成や認知症に対する理解を深めるための普及啓発を進めていくほか、介護予防意識のさらなる向上を図るための元気いきいき高齢者応援事業を引き続き実施いたします。

特別養護老人ホーム心和園と在宅老人デイサービスセンターについては、指定管理者との情報共有を図り、継続的かつ安定的な管理運営と入居者・利用者の安心に資するため、新型コロナウイルス感染症の適切な感染防止策を講じさせるとともに、引き続き施設の適切な維持管理を支援してまいります。

また、老朽化が進む特別養護老人

ホーム心和園の建て替えに向けた具体的な検討を進めてまいります。

介護老人保健施設『ここみ』については、入所者が日常生活を送る力を維持・向上できるよう、リハビリを中心にした自宅復帰を目指した生活の場として、引き続き安定した施設運営と超高齢社会を支える重要な役割を担ってまいります。

障がい福祉については、『第5期厚岸町障がい者基本計画』と『第6期厚岸町障がい福祉計画』の基本理念に基づき、訪問入浴サービス事業や日中一時支援事業など、障がいのある人の地域での生活支援や自宅で常時介護する家族への支援などを引き続き実施するほか、経済的負担の軽減を図るため、身体障害者手帳の交付申請などの各種制度を利用する際に必要となる診断書等の取得費用や身体障害者手帳の交付対象とならない難聴者の補聴器購入費用に対する助成制度を創設いたします。

また、釧路圏域において、障がいのある人などが安心して暮らしているよう、関係事業所に委託し、地域生活支援拠点として緊急時の受け入れのための空床の確保と、その体制維持に努めてまいります。

国民健康保険については、被保険者の健康の保持増進を図るため、特定健康診査の受診の必要性の周知と積極的な受診勧奨を行うほか、医療